

福岡みらい病院で 人工膝関節置換術を受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	TKA術後1年におけるFJSに関するKOOSサブスケールと身体機能の検討
当院の研究責任者（所属）	吉居 啓幸（整形外科） 小西 将広（リハビリテーション科）
本研究の目的	当院では、人工膝関節置換術を受けられる患者様に Forgotten Joint Score-12 (FJS) と Knee Injury and Osteoarthritis Outcome Score (KOOS) という質問紙を聴取しています。FJS は「関節をどの程度意識せずに生活できているか」を示す 12 項目からなる質問紙票で、KOOS は 5 つの大項目（痛み、症状、ADL、スポーツ・レクリエーション、QOL）から構成される膝関節の総合的な質問紙票です。 本研究は、人工膝関節全置換術を受けた患者様の「関節の忘却感覚 (FJS)」がどのような生活状況 (KOOS) と関連しているか、また、どのような身体機能が影響しているかについて検討することを目的としています。
調査データ該当期間	西暦 2020年 1月 10日～西暦 2024年 7月 30日
研究方法	●調査の対象となる患者様 2020 年から 2024 年に当院で施行した人工膝関節全置換術患者様 <電子カルテに記載のある診療情報> 当院で人工膝関節置換術を受けた患者様の診療記録をもとに、術前および術後の FJS・KOOS の結果、身体機能（関節可動域、筋力、痛みの程度）年齢、性別、手術名、などの情報を匿名化し、解析に使用します。
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシーおよび個人情報の秘密を守るため、使用するデータは全て匿名化し、個人を特定できないよう配慮しています。使用するデータは、研究責任者のもとリハビリテーション科内で厳重に管理します。保管期間は研究終了後 5 年間とし、破棄する際はデータを復元不可能な状態に処理して破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究の実施にあたり利益相反はありません。 研究参加による謝礼は発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 整形外科・リハビリテーション科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：吉居 啓幸・小西 将広